

【ディプロマ・ポリシー】(卒業・修了認定の基本方針)

本校では、下記の人材の養成を目的としています。所定の年限在籍し、以下に示す能力・技術の素養を身につけて、各学科の規定する単位数を修得し、卒業研究審査に合格した学生に対して卒業を認定し「準学士(工学)」の称号を授与します。また、専攻科が規定する単位を修得したものに修了を認定します。

《養成すべき人材像》

「科学技術に夢を託し、人類愛に目覚め国際性豊かで情報化社会の最前線で活躍する技術者」

《卒業生、修了生が修得すべき能力・技術の素養》

(A)主体的学習能力

- ① 技術者として必要となる自己管理能力、責任感、チームワーク力、体力等を持つことができる
- ② 未来指向型のキャリアデザイン力を身につけることができる

(B)創造的思考力

- ① 新たな課題や実務上の問題点を理解して、自発的に課題を解決する計画を立案することができる
- ② 基礎知識等を活用しながら、その計画を継続して実行することができる

(C)国際的対応力

- ① 人文・社会科学の知識を活用し、グローバルな視点で社会問題や環境問題を捉えることができる
- ② 日本語および一つ以上の外国語を用いたコミュニケーション能力を身につけることができる

(D)専門的能力

- ① 数学や自然科学を基礎とした専門分野の基礎知識・能力を身につけることができる
- ② 実験・実習で得られるデータの測定、処理および考察に関する実践的技術を身につけることができる

(E)情報通信技術

- ① 情報リテラシーを身につけることができる
- ② 情報機器等を使いこなし、専門分野で必要とされる情報を収集・活用・発信することができる

《各学科および専攻科における養成すべき人材像》

《機械工学科》

機械工学科は、機械技術者として活躍するための機械工学の(D)基礎学力を有するのみならず、(A)主体性・多様性・協働性等の人間力、思考力・判断力・表現力等の(B)創造的な思考力、外国語等のグローバルな(C)コミュニケーション能力、及び社会情勢の急激な変化に柔軟に対処できる(E)情報通信技術能力を備えた人材を育成します。

《電気情報工学科》

電気情報工学科は、理工系基礎学力と電気工学・電子工学・情報工学系の学力・技術をバランス良く身に付けます。このような高度な(D)(E)専門技術と知識の修得と共に、(C)人文・社会系の素養も身に付け、(A)自ら学び、考え、課題を解決できる、(B)創造性・探究心豊かで、社会の要求に応えることを目指す科学技術人材を育成します。

《電子制御工学科》

電子制御工学科は、電子制御技術の根幹である電気・電子、制御、機械関連分野の**(D)専門知識**をしっかりと身につけ、技術者として新しい技術分野に挑戦できる**(A)主体的学習能力**を備え、電子制御システムを操作・構築できる**(B)創造的思考力**を持ち、グローバル化する社会の中で海外の文化を理解し外国語等を使ったコミュニケーション能力を備えた**(C)国際的対応力**を持ち、電子制御分野における専門的知識・技術能力を備え、コンピュータなどの情報機器を自由に駆使できる**(E)情報通信技術**に長けた人材を育成します。

《環境都市工学科》

環境都市工学科は、人類が自然災害から国土を守り快適で安全な生活を支えるための「社会基盤の整備」と、自然と共生・調和し環境負荷の低減を考慮した「循環型の都市づくり」の創造に関する基本的な**(D)専門的知識・考え方**を理解し、**(E)情報通信技術**を駆使しながら**(C)国際的な視野**で人類の持続的発展を支える社会基盤整備を**(A)主体性・多様性・協働性**を持って積極的に推進できる**(B)創造的思考力**を身に付けた実践的技術者を育成します。

《建築学科》

建築学科は、人間が社会生活を営む空間を構築するために建築・都市空間の構成技法、環境調整及び構造安全性に関する**(D)専門的技術**と**(E)情報通信技術**、加えて**(A)主体性・多様性・協働性**をもってそれらを総合化する能力、および思考力・判断力・表現力を備えた**(C)国際的コミュニケーション能力**と**(B)創造的思考力**を有する人材を育成します。

《専攻科先端融合開発専攻》

先端融合開発専攻は、**(D)専門分野**をさらに深めることに取り組むとともに、これと異なる分野の技術システムを理解して、機械工学、電気電子工学、情報工学、土木工学、建築学などを融合した問題解決手段により、**(A)主体性・多様性・協働性**などの人間力・思考力・表現力などの**(B)創造的な思考力**、柔軟な**(C)国際的対応力**および**(E)情報通信技術**をもって、世界の持続的な発展に貢献しうる能力を有する人材を育成します。